

# 令和7年度 長野看護専門学校学校関係者評価委員会 議事録

日時 令和8年4月20日(月)14:00~14:50

場所 長野看護専門学校 会議室

出席者:委員 14名の内 13名の委員が出席 1/2の出席にて会議成立

【外部委員】6名中 5名出席(欠席の1名からは文書にて意見をいただいた)

須田 まゆ美 JA 長野厚生連長野松代総合病院 統括看護部長

倉石 榮二 芹田地区住民自治協議会 会長

相澤 優充 長野市保健福祉部 医療連携推進課 課長

丸山 真弓 長野看護専門学校 卒業生

春日 千賀子 長野県看護協会長野支部 支部長

宮坂 彩水 保護者代表

【教職員】釜田 秀明 学校長以下8名出席

## 1. 学校長あいさつ(釜田学校長)

長野看護専門学校の運営方針を今年度中に見直すことになっている。専修学校の学生の充足率低下、退学者の増加の課題に向け努力していく。

## 2. 自己紹介

## 3. 学校関係者委員会委員長の指名

釜田学校長より

長野市保健福祉部 医療連携推進課 課長 相澤優充様をご指名する。

## 4. 会議事項 (進行 相澤委員長)

### 1) 当校の概況について

若林副学校長より、パワーポイントの資料に沿って、当校の概況について報告する。

本校の特徴について、学生の養成状況(資格試験の合格率)・就職先(地域貢献度)・各種奨学金の内容、本校の現状と課題について説明する。

### 2) 令和7年度学校自己評価について

資料を用い、若林副学校長より説明する。

### 【意見】

・近年、美容整形や応援ナースを希望するなど傾向が変わってきている。長野看護専門学校の卒業生は、即戦力となっており順調に育ってきている。

・今の若者は、アニメなどの影響が大きいと感じる。看護師は大事な仕事と思うが、その志を持つ若者が減少してきている。社会の責任だと感じており、小学校からの学校教育に取り組んでいく必要がある。

### 【質疑応答】

- Q. 新人の看護師は理想と現実のギャップがあり、入職して3日で仕事に出てこられなくなる人もいます。  
3年生の後期に実習を落としてしまった場合、再実習ができないというのはどうしてか。再実習なく留年してしまうのは、看護師になりたいという意欲があるのもったいないと思う。
- A. 3年生の後期に実習を落としてしまった場合、カリキュラムを検討したが、再実習の日程を組むことが難しい。  
ゆっくり成長していく学生もいるので、3年でなく4年かけて卒業している学生もいる。
- Q. 留年者や退学者にはどのように指導しているのか。
- A. 学生個々に抱えているものが違うため、個別に面談を繰り返し本人が意思決定できるように関わっている。
- Q. 卒業率の低下が課題にあがっている。実習で学生を育てられるように、実習指導も指導者研修を終講した看護師が担当している。学校側から指導者に要望はあるか。
- A. 学生指導において、教員と臨床指導者が協力し連携を深めていきたい。

### 3) その他

特になし

### 5. 閉会

## 令和7年度 学校自己評価に係る意見照会（学校関係者評価委員会・欠席者分）

### I. 教育理念・目標

特色とされていることに関して、アピールポイントを挙げていく事は良いと思います。

### II. 学校運営

看護師になりたいと興味を持ち始めるのが小学生頃の人も多いと聞きました。

小学生向けの体験イベントに参加する事もいいと思います。

卒業生アンケートでは、校内学習の充実が高評価につながっていると思いました。

### III. 教育活動

特になし

### IV. 学修成果

特になし

### V. 学生支援

特になし

### VI. 教育環境

特になし

### VII. 学生の受け入れ募集

SNS がとても見やすく、工夫されていると思いました。

### VIII. 財務

特になし

### IX. 法令等の遵守

特になし

### X. 社会貢献・地域貢献

核家族が進んでいる一方での高齢化社会ですので、地域の高齢者との交流やボランティア活動は、地域を知る興味を持つ大切な機会になると思います。